

(様式1)

平成30年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	校訓の精神のもと、あらゆる教育活動をとおして、よりよく問題を解決する力や豊かな人間性、健やかな体などの生きる力を育むとともに、地域産業の担い手としての資質・能力を身に付けさせ、社会の発展に貢献できる人材を育成する。
(2) 現状と課題	今日の地域状況をふまえ、意欲ある生徒を確保し、次代を担う職業人を育成することが本校の役割と考える。そのため、特色ある取り組みや進路状況等を確実にアピールしていくこと、基本的生活習慣の確立と基礎学力の定着に継続して取り組むこと、キャリア教育を更に充実することが必要である。その上で、各学科の教育内容を生かしながら、新しい理論や技術等を導入したプロジェクト学習等を積極的に推進していかなければならない。
(3) 重点目標	1 基礎・基本の習得と定着を図り、実社会で必要とされる主体的に学習に取り組む態度や思考力、判断力、表現力などの能力を育成する。 2 農業や環境、地域社会に関する学習を深め、生命や自然、郷土を大切に作る心や他を思いやる心などの豊かな人間性を育成する。 3 食育や健康・安全教育への取り組みを推進し、たくましく生きるための健康や体力、安全で快適な生活を送ろうとする態度を育成する。
(4) 結果の公表	本校ホームページに掲載する。

学校整理番号	42
学校名	青森県立柏木農業 高等学校
全日制の課程	校舎・分校
自己評価実施日	平成31年 1月16日(水)
学校関係者評価実施日	平成31年 2月 5日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員4名、PTA会長 計5名

自 己 評 価				学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	学習指導の充実	①生徒や保護者、地域社会のニーズに対応した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望に対応できる学習機会を保障する。 ②学習内容や教材、指導方法の創意工夫を図り、「わかる・できる」授業の実践から、基礎学力の定着と技能の習得・向上に努める。 ③資格取得や多面的総合的評価の推進を図り、意欲を持って主体的に学習に取り組もうとする態度を養う。	①学習指導要領と生徒の実態等を考慮した教育課程の編成に努め、各教科・科目とも特に問題なく取り組むことができた。 ②研究授業、公開授業を計画的に実施し、合評会についても普通科目と専門科目に分かれて協議を行いながら、教員個々のスキルアップに取り組んだ。 ③朝の時間を利用して、学び直しや一般常識問題等に取り組ませた。各教科や学科では、資格取得に向けて、放課後や長期休業を活用して独自に対応した。また、外部企業・団体とも連携して取り組み、就職希望者への手立てとなっている。	B	・社会で通用する基礎・基本的な学力が身に付くような指導をお願いしたい。 ・キャリア教育が重要な時代になってきており、今後も様々な活動に取り組んでほしい。	・言語活動の充実については、農業科目のプロジェクト学習等で重点的に実施しているところであり、普通教科でも、より積極的にグループワーク等を取り入れるなど、新たな取り組みを計画的に推進していきたい。 ・「主体的・対話的な深い学び」への授業改善、発達障害やその疑いのある生徒への対応など、教員が喫緊の課題に対応するためにも、専門的知識の習得やスキルアップができるような外部研修への参加や校内研修の充実に取り組んでいきたい。 ・生徒の自主的・自発的な学習を育むための指導成果を進路志望の達成に結びつけるためにも、各種コンテスト等に積極的に参加させる等、さらに工夫した指導法を検討していきたい。

自 己 評 価				学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策	
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度		
2	生徒指導の充実	<p>①基本的な生活習慣や倫理観、規範意識等に関する指導を徹底し、不易で普遍的な価値観の育成に努める。</p> <p>②生徒との望ましい人間関係のもとに生徒理解を深め、他を思いやる心や公共物を大切にすることを育成するために、問題の早期発見や個に応じた適切な指導に努める。</p> <p>③交通安全や不審者等に関する取り組みの充実を図り、事故や被害を未然に防止しようとする態度を養う。</p>	<p>①非行の芽は小さなうちに摘み取る「割れ窓理論」の考え方に立脚し、全教職員が個々の生徒が発する小さなサインを見逃さず、声掛けやその場指導の徹底を継続した。</p> <p>②4月、8月に面談週間を設けることで、早期に生徒理解を深めたり、悩み等を聞くことができた。また、最近のSNS事情に関する講習会を実施するなど、生徒がトラブルに巻き込まれることを未然に防止するよう指導を強化した。</p> <p>③交通安全教室や不審者対応に関する防災訓練等を充実し、日常の注意喚起を効果的に実施するなど、常日頃から事故防止等に努めることができた。</p>	B	<p>・あいさつを含め、容儀やマナー等の指導を徹底しながら、社会で通用する人材の育成に努めてほしい。</p> <p>・防犯対策として、駅からの通学路に街灯のない部分があり暗くて危険なので、関係機関と相談し設置してほしい。</p> <p>・自転車の指導を徹底してほしい。今は少なくなったが、急な飛び出しや女生徒のスカートでの自転車のこぎ方などを指導してほしい。</p> <p>・いろいろな生徒がいるが、安心して子どもを任せられる環境づくりを進めてほしい。</p>	<p>・基本的な生活習慣及び規範意識の低い生徒に対する対応については、教員個々のスキル向上と組織的対応を実践しながら、個々の生徒に対してきめ細やかな指導を進めていきたい。</p> <p>・防犯対策の通学路の街灯設置については、町内会や市役所の建設課や総務課と相談しており、早めに設置してもらえるように進めていきたい。</p> <p>・交通安全については、交通安全教室を使用したり、HR活動を使用しながら、指導を進めていきたい。</p> <p>・生徒指導においても、発達障害やその疑いのある生徒への対応が喫緊の課題であり、教員がその知識や指導方法を習得できるように、外部研修の機会を多くし、また、校内研修の充実にも取り組んでいきたい。</p>
3	進路指導の充実	<p>① 生徒や保護者との面談、志望や適性の把握、情報の収集や提供の充実を図り、進路目標の達成に努める。</p> <p>② インターンシップやボランティア活動の充実を図り、望ましい職業観や勤労観の育成に努める。</p> <p>③ 学科、学年、進路指導部の連携を強化し、大学や公務員希望者を早くから選定し、計画的な支援に努める。</p>	<p>①求人票を各教室でも閲覧できるようにし、また、進路指導部と3学年との打合せを毎朝綿密に行い、学科とも連携し進路指導を進めた結果、今年度も全員の進路が決定した。</p> <p>②2学年が中心となり、学科と連携・協力し、生徒が希望する職場でのインターンシップを進めた結果、天候の影響で2日間になったものの、生徒の進路に向けた意識高揚に繋がった。</p> <p>③早めに三者面談を行い希望進路を決定し、進学指導では学科主任が中心となり面接や小論文指導、就職指導では学年主任が中心となり、履歴書の指導や面接指導を計画的に行うことができた。</p>	B	<p>・青森県農業において、経営力に優れた農業の担い手を育成してほしい。また、農業自営だけでなく、農業関連の就職など地域産業の担い手の育成にも努めてほしい。</p> <p>・人とのコミュニケーションが苦手な生徒もいると思うが、就職又は進学できるように指導してほしい。</p>	<p>・農家子弟が激減しているので、進路指導部、農業部、学科、農業クラブと連携しながら、農業経営や地域の農業関連産業について興味・関心が持てるような学校行事や教育活動を行ってほしい。</p> <p>・引き続き、早めの三者面談で希望進路を考えさせ、進路指導、学年、学科が連携・協力し、進路ガイダンス等を行いながら計画的な指導を行ってほしい。</p>

4	農業・環境教育の充実	<p>①課題研究におけるプロジェクト学習の充実を図り、自ら考え、実践し、表現する力の育成に努める。</p> <p>②庭園や花壇及びその他、校地内の環境整備を通して、景観や環境保全に対する意識の高揚を図る。</p> <p>③新しい取組や技術の導入を積極的に推進し、収量や品質の向上、付加価値の創出に努める。</p>	<p>①科目「農業と環境」と「課題研究」において、プロジェクト学習が計画的に実施されており、レポートの作成、発表方法の工夫等において、研究内容や態度が向上した。</p> <p>②近隣に生息する希少生物やシャジクモなどの絶滅危惧種の保護、ハンカチツリーの植樹に取り組む環境教育など、各学科の特色を生かした指導を行うことができた。</p> <p>③本校独自の実習の他、修学旅行における京都でのりんご販売等、多くの生徒が販売実習に取り組んだことで、コミュニケーション能力が向上した。また、農業クラブ活動において、OB農家や4Hクラブとの交流活動並びに老人福祉施設でのボランティア活動など、地域との連携を推進することができた。</p>	A	<p>・りんご栽培では鳥害が多いので、生徒の柔軟な発想のもと、地域農業の問題に対してのプロジェクト等を行い、解決してほしい。</p> <p>・地域社会や大学と一緒に研究を進めてほしい。</p>	<p>・プロジェクト学習において、地域の課題に着目しながら、研究成果を地域に発信できるようにしていきたい。</p> <p>・地元農家や企業等と連携して各学科の特色を生かした研究活動や地域支援活動等を行ったり、海外研修を実施するなど、キャリア教育並びにグローバル教育の推進につなげたい。</p> <p>・様々な場所で販売実習を計画し、その接客の経験はキャリア教育の観点からも意義があるため、より多くの方々に販売実習を周知する方策として広報活動を強化したい。</p> <p>・農業クラブにおいては、大学生等の異世代交流を活発化し、生徒の学習に対する意欲高揚とコミュニケーション能力を高めたい。</p>
---	------------	--	---	---	--	--

(11) 総括	<p>本校教育活動の評価結果をもとにさらに改善を図り、生徒に課題解決能力や豊かな人間性、健やかな体等の生きる力、地域産業の担い手としての資質・能力を習得させるために邁進していきたい。また、各種コンクールへの積極的な参加、各学科の特色を生かした研究活動、販売実習や商品開発を含めた農業教育を充実・発展させ今後も生徒一人ひとりが主役の農業高校を目指して誠心誠意努力していきたい。</p>
---------	---